

## 災害弱者支援について

**Q** 新潟・福井の集中豪雨で人たちが取り残される、犠牲者も出るなどしました。八潮市では、「災害弱者」と言われる人たちの把握、その活用方法等をごどのように考えていますか。

**A** 「災害時要支援者」については、本年8月末現在、身体障害者4級以上1592人、知的障害者中度以上261人、重症心身障害者1026人、高齢者関係では本年7月末現在で要介護認定者は1064人、常時一人暮らしの者は1434人となっております。また、その活用方法について

鹿野 泰司

は、各事業課で把握しているデータを、各町会・自治会及び防災関係機関等に提供をすることは、プライバシー保護の立場から実施していません。しかし、民生委員、自主防災組織、町会・自治会に対して、市としては、住所・氏名等の防災支援に関わる最低限の情報提供の可否について検討するとともに、地域の実情に即した情報収集の方法、救援方法をお願いして参りたいと考えております。

## 市営住宅の申込み手続きについて

**Q** 市営住宅申込み時の手続きを簡素化して、入居資格審査を当選された方だけに事後審査方式を導入できないかお伺いします。

**A** いくつかの問題点も考えられますが、手続きの簡素化につきましては、十分認識しているところで、先進事例等を含め、調査研究して参りたいと考えております。

森下 純三



## 道路行政について

**Q** 東埼玉道路（国道）と東京平方線（県道）への市道路線の整備、又八潮市内へのアクセスと草加市・越谷市への接続道路についてお尋ねいたします。

**A** 地元町会では、東埼玉道路が開通いたしますと、県道を始め、周辺道路のさらなる渋滞が予想されることから、その対策についての要望がございました。市といたしましても、地元町会の要望を踏まえ、渋滞緩和策の一環として、市道1205号線及び1208号線の2路線につきまして、順次整備を予定したところで、平成14年

宇田川 武雄

度は、東埼玉道路との整合を図るため、当該2路線の基本設計を実施し、交通量の増加や歩行者の安全性を考慮し、総幅員8・9メートル、車道6・4メートル、北側に歩道2・5メートルの設計になっております。本年度につきましては、市道1208号線を地元の要望を踏まえ、優先的に整備させていただきます。

## 人事政策について

**Q** 財政の硬直化や任用形態の多様化の中で、分権に伴う国・県からの権限委譲、高度複雑化する行政課題や多様な市民ニーズに対応する人材確保が必要であり、自治体間競争に打ち勝つためにも、長期的な人事政策が必要であると思っております。見解を求めます。

**A** 社会状況の変化、時代の要請に対応するために、職員の資質の向上が不可欠であり、今後多様な資質を持つ人材育成は重要だと認識しております。平成9年に国から「人材育成基本方針策定指針」が示され、第2次八潮市行政改革大綱・後期実

矢澤 江美子

施計画の中で、「人材育成基本方針」の策定を位置付けています。能力等級制を導入し、能力・実績主義の人事管理を実現することなどを改革の柱とした「公務員制度改革」が進められているので、国の動向を注視しつつ策定していきたいと考えております。なお、指針の中に掲げられた施策等に沿って、人事考課の勤務評定制度や、自己申告制度等可能なものは既に導入しております。

## 法定合併協議会について

**Q** 法定合併協議会の設置請求という住民発議を受けた以上、合併協議会という場でビジョンやメリット、デメリットについて十二分に協議し、その結果を両市の市民に提示し、市民が判断しやすいような環境を整えることこそ、八潮市の義務であると考えますが、いかがでしょうか。そして、仮定や想像ではなく、より現実的な八潮草加地域の将来の姿をもとに慎重に検討し、市民の声を聞きながら合併の是非を判断していただくことが市民が主役を提唱する八潮市がとるべき道と考えます。ご見解をお聞かせください。

**A** 草加市との合併においては、市民の皆様にとつて望ましいビジョン等を持つことは難しいと考えます。住民発議を受けた以上、協議会の場で慎重に検討すべきではということですが、住民発議という行為は重く受け止めるべきと考えます。しかし、多くの市民の皆様への合併に対する考えを聞くこと、必ずしも発議の内容が市民全体の考えに沿っているものか疑問が残ります。そのため、合併協議会設置議案について、議員の皆様

森 伸一

の慎重な審議をお願いしたい。

## 八潮駅に係わるバス路線について

**Q** つくばエクスプレスは平成17年秋に開通する予定ですが、八潮駅に係わるバス路線の現在の取組と今後の予定についてお伺いします。

**A** 現在までの取組状況は、バス事業者とともに組織しております八潮市都市交通問題研究会において、バス事業者へのヒアリングなどを実施しております。また、八潮駅開業時の具体的なバスルート案の検討を進めるため、8月にはバス事業専門家であります国土交通省関東運輸局のバス担当の課長をはじめ埼玉県バス交通担当、埼玉県警察本部の交通規制担当、

小倉 孝義

バス事業者などに本市にお集まりいただき、バス路線網の再編等を検討いたしました。今後は、更に検討会を重ねてバスルート案を作成し、つくばエクスプレス開業時には、市内全体のバス路線網の見直し、充実が図れるよう進めて参りたいと存じます。

